□特　集

令和６年京都府鉱工業指数の動き

生産は４年ぶりの低下

府企画統計課産業統計係

はじめに

京都府では、府内の鉱工業の月々の生産活動の動向を明らかにすることを目的として「京都府鉱工業指数」を毎月作成し、公表しています。

この鉱工業指数は、景気の動きに敏感に反応するため、景気変動を読みとることができる指標として各方面で活用されています。

今回、令和６年１月分から12月分の実績値を最終確定値に置き換え、原指数の確定と季節指数の改定を行いました。（年間補正）

なお、各品目の系列資料は「経済産業省生産動態統計調査」及び「京都府鉱工業生産動態統計調査」等によっています。

（注　本文記載のデータ中、年平均は原指数、四半期は季節調整済指数の数値です。）

指標からみた鉱工業の動き

１　概　況

（１）生産指数

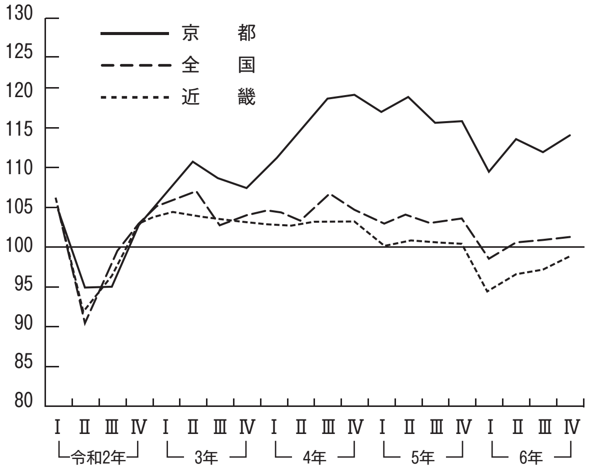
京都府鉱工業指数のうち生産指数は、基準年である令和２年には新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、４月に発出された緊急事態宣言で経済活動が制限され、輸送機械工業をはじめ企業の生産水準が急速に低下し、現行基準で比較可能な平成30年以降で最も低い水準となりました。

その後、リチウムイオン蓄電池等電気機械工業等がけん引し、全体を押し上げた結果、令和３年、４年と大きく上昇し、４年、５年は新型コロナ感染拡大前の元年の水準を上回りました。

こうした中、令和６年の生産指数（令和２年=100）は、輸送機械工業や業務用機械工業をはじめ、多くの業種が低下したため、前年比3.6%低下の113.5で、４年ぶりに低下し、新型コロナ感染拡大前の元年の水準を下回りました。

四半期別にみると、１～３月期は110.2で前期比5.6%低下、４～６月期は114.4で同3.8%上昇、

図１　京都･全国･近畿の鉱工業生産指数の推移
（R２=100 季節調整済）



注１　Ⅰ期・・・１月～３月、Ⅱ期・・・４月～６月、Ⅲ期・・・７月～９月
Ⅳ期・・・10月～12月（以下のグラフ同じ）
２　近畿の令和６年数値は年間補正前

７～９月期は112.7で同1.5%低下、10～12月期は114.9で同2.0%上昇となりました。

全国の令和６年の生産指数（年間補正後）は101.2で、前年比2.6%の低下となり、３年連続で低下しました。全国の動きを四半期別にみると、１～３月期は99.0で前期比5.2%低下、４～６月期は101.1で同2.1%、７～９月期は101.4で同0.3%、10～12月期は101.8で同0.4%と３期連続の上昇となりました。

近畿の令和６年の生産指数（年間補正前）は97.3で、前年比3.7%の低下となり、３年連続で低下しました。近畿の動きを四半期別にみると、１～３月期は94.4で前期比6.1%低下、４～６月期は97.0で同2.8%、７～９月期は97.6で同0.6%、10～12月期は99.3で同1.7%と３期連続の上昇となりました。

京都府の業種別の動きを前年比でみると、13業種で低下、３業種で上昇しました。

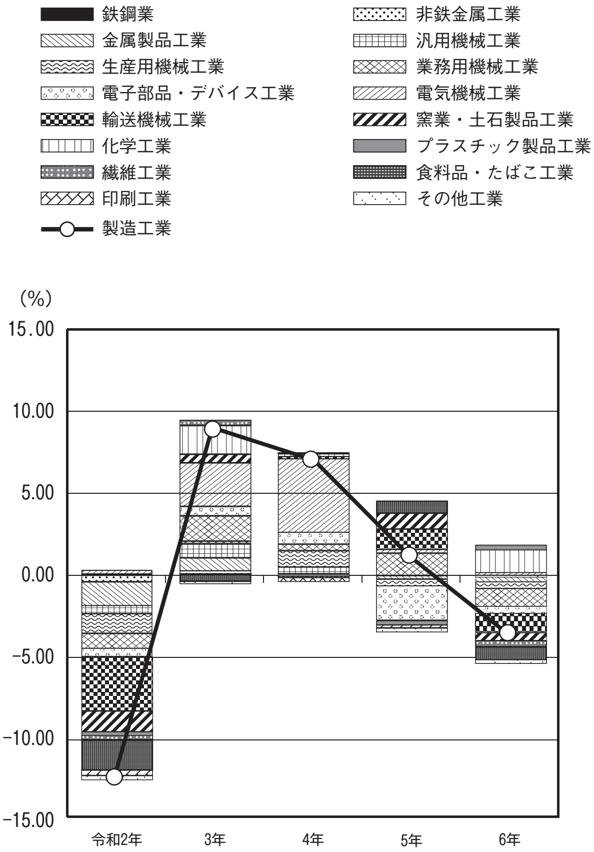
（図１、表１～３）

最も低下に寄与した業種は、輸送機械工業で、３年ぶりの低下となりました。続いて業務用機械工業や食料品･たばこ工業が低下に寄与しました。

最も上昇に寄与した業種は、化学工業で、４年連続の上昇となりました。続いてプラスチック製品工業や電気機械工業が上昇に寄与しました。

（図２、表１、表２）

図２　京都府鉱工業生産指数（原指数）業種別寄与度の推移



（２）出荷指数

令和６年の京都府の出荷指数（令和２年＝100）は、前年比 4.1％低下の 106.5 となり、４年ぶりの低下となりました。

四半期別にみると、１～３月期は 96.6 で前期比 13.1％低下、４～６月期は 109.0 で同 12.8％、７～９月期は 109.2 で同 0.2％と２期連続の上昇となりましたが、10 ～ 12 月期は 108.6 で同 0.5％低下しました。

図３　京都府鉱工業指数の推移（Ｒ２=100 季節調整済）

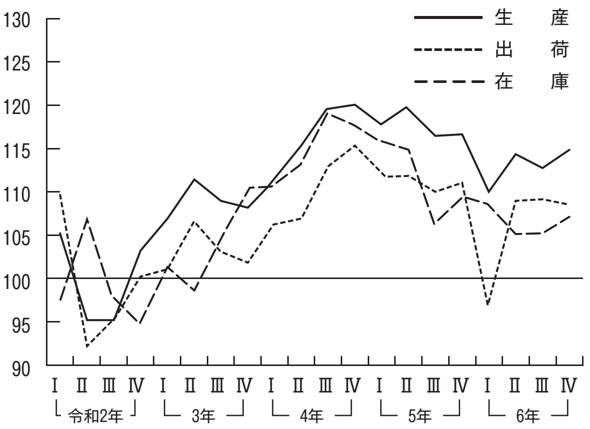


表１　京都府鉱工業指数（原指数）業種別寄与度

項目	系列・年	生産指数 令和2年	3年	4年	5年	6年	出荷指数 令和2年	3年	4年	5年	6年	在庫指数 令和2年	3年	4年	5年	6年
製造工業（対前年比％）		△ 12.40	8.90	7.00	1.00	△ 3.60	△ 13.00	3.00	7.00	0.80	△ 4.10	△ 9.50	17.10	7.00	△ 6.90	△ 2.30
業種別	鉄鋼業	△ 0.16	0.10	△ 0.03	△ 0.02	△ 0.06	△ 0.30	0.14	△ 0.07	△ 0.03	△ 0.10	0.48	0.75	△ 0.04	△ 0.19	△ 0.05
	非鉄金属工業	△ 0.36	0.14	0.04	△ 0.07	△ 0.15	△ 0.46	0.18	△ 0.01	△ 0.16	△ 0.12	△ 1.21	0.34	0.21	0.08	0.18
	金属製品工業	△ 1.39	0.81	△ 0.04	△ 0.19	△ 0.26	△ 1.05	0.62	△ 0.13	△ 0.10	△ 0.17	△ 0.70	△ 0.32	1.33	0.36	△ 0.64
	汎用機械工業	△ 0.55	0.80	0.41	0.08	△ 0.09	△ 0.43	0.83	0.50	0.00	△ 0.06	x	x	x	x	x
	生産用機械工業	△ 1.20	0.14	1.04	△ 0.41	△ 0.37	△ 1.33	△ 0.24	0.94	0.01	△ 0.43	△ 0.30	0.29	0.30	0.65	△ 1.29
	業務用機械工業	△ 0.89	1.58	0.33	1.22	△ 1.09	△ 0.64	0.52	0.41	0.20	△ 0.47	-	-	-	-	-
	電子部品･デバイス工業	△ 0.60	0.62	0.76	△ 2.08	△ 0.42	△ 0.57	0.56	0.99	△ 2.01	△ 0.22	0.31	2.57	△ 1.91	△ 3.02	1.37
	電気機械工業	0.15	2.66	4.45	0.28	0.12	△ 0.13	1.58	2.56	△ 0.27	0.38	x	x	x	x	x
	輸送機械工業	△ 3.25	△ 0.03	0.07	1.15	△ 1.12	△ 4.42	△ 0.18	0.94	2.53	△ 2.38	x	x	x	x	x
	窯業･土石製品工業	△ 1.43	0.52	△ 0.13	1.04	△ 0.53	△ 0.78	0.14	0.08	0.38	△ 0.25	△ 3.23	3.32	△ 0.35	1.34	△ 0.50
	化学工業	△ 0.04	1.75	0.20	0.01	1.27	△ 0.78	0.79	0.23	△ 0.16	0.90	△ 1.71	1.98	△ 0.98	△ 0.70	0.62
	プラスチック製品工業	△ 0.24	0.23	△ 0.08	△ 0.22	0.40	△ 0.30	0.28	△ 0.13	△ 0.23	0.52	0.59	△ 0.17	0.29	△ 0.12	△ 0.60
	繊維工業	△ 0.25	0.06	△ 0.02	△ 0.05	△ 0.37	△ 0.18	0.04	0.00	△ 0.05	△ 0.29	0.02	△ 0.96	0.22	0.39	△ 0.57
	食料品･たばこ工業	△ 1.65	△ 0.34	0.03	0.69	△ 0.83	△ 1.18	△ 2.10	0.82	0.94	△ 1.28	△ 1.81	3.69	0.73	△ 1.59	1.92
	印刷工業	△ 0.32	△ 0.02	△ 0.11	△ 0.17	△ 0.12	△ 0.25	△ 0.02	△ 0.09	△ 0.14	△ 0.09	-	-	-	-	-
	その他工業	△ 0.25	△ 0.13	0.09	△ 0.23	△ 0.00	△ 0.18	△ 0.17	△ 0.03	△ 0.09	△ 0.05	△ 0.58	△ 1.33	1.85	△ 0.92	△ 0.20

業種別の動きを前年比でみると、13 業種で低下、３業種で上昇しました。

最も低下に寄与した業種は、輸送機械工業で、３年ぶりの低下となりました。続いて食料品・たばこ工業や業務用機械工業が低下に寄与しました。

最も上昇に寄与した業種は、化学工業で、２年ぶりの上昇となりました。続いてプラスチック製品工業や電気機械工業が上昇に寄与しました。

（図３、表１、表４）

（３）在庫指数

令和６年の京都府の在庫指数（令和２年 =100）は、前年比 2.3％低下の 104.6 となり、２年連続の低下となりました。

四半期別にみると、１～３月期は 108.9 で前期比 0.5％、４～６月期は 105.2 で同 3.4％と２期連続の低下となりましたが、７～９月期は 105.3 で同 0.1％、10 ～ 12 月期は 107.2 で同 1.8％と２期連続の上昇となりました。

業種別の動きを前年比でみると、８業種で低下、６業種で上昇しました。

最も低下に寄与した業種は、生産用機械工業で、４年ぶりの低下となりました。続いて金属製品工業やプラスチック製品工業が低下に寄与しました。（秘匿業種を除く）

最も上昇に寄与した業種は、食料品・たばこ工業で、２年ぶりの上昇となりました。続いて電子部品・デバイス工業や化学工業が上昇に寄与しました。

（図３、表１、表５）

２　業種別生産指数の動向

（１）金属工業

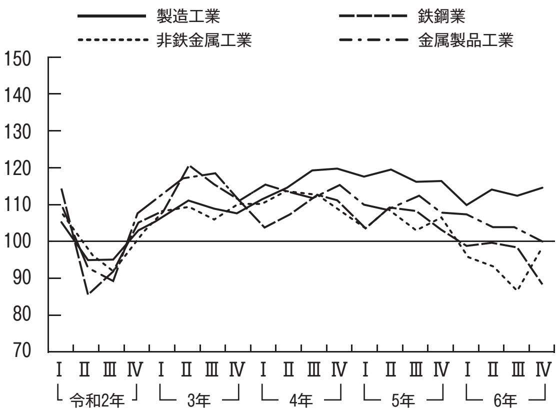
鉄鋼業は 96.6 で前年比 9.3％低下となりました。球状黒鉛鋳鉄等が低下に寄与しました。

非鉄金属工業は 94.9 で同 10.1％低下となりました。銅合金塊等が低下に寄与しました。

金属製品工業は 104.3 で同 5.2％低下となりました。電気溶接棒等が低下に寄与しました。

（図４、表２）

図４　京都府鉱工業生産指数　業種別の推移（R２=100　季節調整済）



（２）機械工業

汎用機械工業は 136.0 で前年比 2.2％低下となりました。真空ポンプや固定比減速機等が低下に寄与しました。

生産用機械工業は 104.3 で同 5.0％低下となりました。金属工作機械等が低下に寄与しました。

業務用機械工業は 123.4 で同 10.2％低下となりました。電磁気分析機器やクロマト・分離・蒸留機器等が低下に寄与しました。

電子部品・デバイス工業は 78.1 で同 8.2％低下となりました。半導体集積回路等が低下に寄与しました。

電気機械工業は 157.4 で同 0.6％上昇となりました。リチウムイオン蓄電池等が上昇に寄与しました。

輸送機械工業は 102.1 で同 18.1％低下となりました。 乗用車等が低下に寄与しました。

（図５、表２）

図５　京都府鉱工業生産指数　業種別の推移（R２=100 季節調整済）

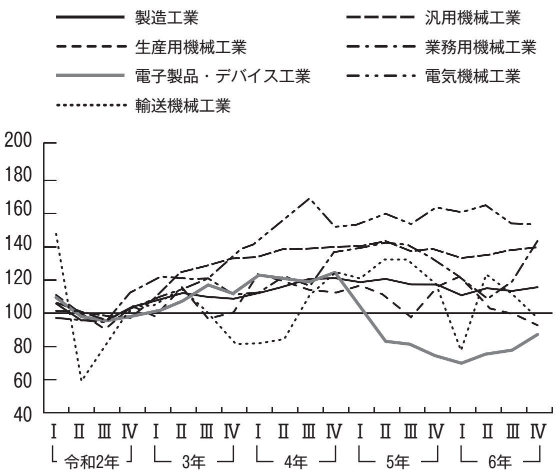


表２　京都府鉱工業生産指数（原指数）

区分	製造工業	業種							
		鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	汎用機械工業	生産用機械工業	業務用機械工業	電子部品・デバイス工業	電気機械工業
ウエイト	10000.0	69.1	164.2	538.8	341.5	797.4	908.6	696.2	1386.1
令和元年平均	114.1	127.2	124.8	129.2	118.1	117.1	111.2	109.7	98.8
2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3	108.9	114.1	108.6	115.1	123.4	101.8	117.4	109.0	119.2
4	116.5	109.4	111.0	114.3	136.2	116.0	121.3	120.9	154.0
5	117.7	106.5	105.6	110.0	139.0	109.8	137.4	85.1	156.4
6	113.5	96.6	94.9	104.3	136.0	104.3	123.4	78.1	157.4
５年１月	107.5	85.0	95.9	102.1	128.5	109.0	126.4	99.0	144.4
2	120.7	99.5	103.9	114.3	138.4	137.7	149.4	99.6	154.2
3	131.0	125.6	117.9	113.3	161.6	125.8	172.2	102.7	175.0
4	119.0	109.9	109.6	105.3	142.5	108.1	134.3	85.6	163.2
5	107.9	101.4	101.4	98.6	130.4	104.0	125.8	75.5	132.4
6	120.3	105.0	112.1	113.9	147.2	105.3	147.8	75.3	151.4
7	117.2	109.5	107.1	116.5	136.2	78.2	124.2	86.1	165.4
8	107.1	106.3	96.1	101.6	130.4	120.2	115.1	76.6	140.5
9	116.9	103.0	94.7	117.1	135.3	93.2	155.2	86.2	146.5
10	120.9	110.8	107.4	119.4	138.0	101.4	124.6	83.5	160.7
11	124.1	118.9	112.0	113.9	138.6	110.9	132.5	75.9	173.9
12	120.0	103.3	109.6	103.8	140.4	124.1	141.2	75.4	169.0
６年１月	99.8	86.2	97.8	105.2	127.0	108.7	131.0	59.8	143.8
2	111.9	94.8	100.3	109.4	134.4	131.6	125.0	69.7	165.9
3	120.0	101.8	95.3	111.4	139.2	151.7	136.5	74.7	182.5
4	114.3	96.4	94.0	96.6	138.8	108.3	104.0	71.1	158.1
5	106.2	97.3	94.2	101.1	126.6	97.3	99.6	69.3	143.3
6	112.2	94.4	88.0	105.8	129.8	88.9	98.2	73.5	163.6
7	120.1	119.0	91.1	115.6	144.2	90.9	101.5	79.6	167.0
8	97.8	96.0	69.6	86.6	119.9	104.5	98.2	69.5	129.1
9	114.5	85.1	92.6	108.4	139.3	99.0	122.7	89.4	159.5
10	123.1	96.8	110.2	104.0	148.4	92.1	135.0	90.7	164.6
11	121.5	105.3	104.8	109.5	143.5	88.5	159.7	93.6	157.9
12	120.5	85.8	100.3	98.5	141.2	90.0	169.3	96.2	153.0

表３　京都府鉱工業生産指数（季節調整済指数）

区分	製造工業	業種							
		鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	汎用機械工業	生産用機械工業	業務用機械工業	電子部品・デバイス工業	電気機械工業
ウエイト	10000.0	69.1	164.2	538.8	341.5	797.4	908.6	696.2	1386.1
令和２年Ⅰ期	105.3	114.7	107.7	109.4	105.9	110.3	96.8	108.8	101.0
Ⅱ	95.3	85.9	97.6	93.2	100.2	99.2	95.5	97.6	100.9
Ⅲ	95.4	92.2	92.3	89.6	98.0	91.0	94.3	95.5	95.1
Ⅳ	103.3	105.4	101.0	107.9	97.1	103.8	113.3	98.1	102.7
３年Ⅰ期	107.0	108.7	108.6	112.3	110.4	97.2	121.0	100.6	108.8
Ⅱ	111.5	121.0	109.7	118.6	123.7	115.5	119.6	107.4	113.9
Ⅲ	109.2	115.8	106.3	118.8	127.8	96.4	120.1	116.3	120.2
Ⅳ	108.1	111.3	110.3	111.4	132.2	100.1	110.7	111.4	133.8
４年Ⅰ期	111.5	104.1	111.1	115.8	132.7	122.4	111.8	122.0	142.0
Ⅱ	115.4	107.7	114.0	113.6	137.6	118.5	121.5	120.7	157.3
Ⅲ	119.6	113.1	112.9	112.0	137.5	113.3	115.8	118.1	167.3
Ⅳ	120.1	111.9	107.8	115.7	138.7	111.5	136.5	123.7	150.6
５年Ⅰ期	117.9	103.9	104.6	109.5	139.2	116.0	138.0	102.9	152.7
Ⅱ	119.8	110.4	108.6	109.5	142.0	110.0	141.2	83.0	158.3
Ⅲ	116.5	108.6	103.3	112.8	136.2	97.3	139.2	81.2	152.2
Ⅳ	116.7	103.5	106.8	108.1	137.5	114.4	130.7	74.3	162.0
６年Ⅰ期	110.2	99.1	97.0	107.7	132.1	121.8	120.3	70.1	159.2
Ⅱ	114.4	100.0	94.0	104.5	134.1	103.8	107.8	75.7	163.4
Ⅲ	112.7	98.7	87.0	104.3	137.0	99.7	118.4	77.8	152.2
Ⅳ	114.9	88.7	98.8	100.3	138.6	92.6	142.4	87.0	152.0
６年１月	107.1	99.4	100.1	108.2	133.1	116.8	131.9	66.1	153.9
2	111.0	99.9	97.9	107.2	135.7	123.6	114.6	71.6	160.1
3	112.6	97.9	93.0	107.7	127.5	124.9	114.3	72.6	163.6
4	114.3	95.9	92.2	99.3	135.9	110.4	108.4	74.0	158.5
5	114.9	102.1	100.4	108.6	133.0	107.1	111.1	74.8	164.1
6	114.1	102.0	89.3	105.5	133.5	93.8	103.9	78.4	167.7
7	115.6	110.7	88.7	109.9	136.7	98.2	109.6	77.4	159.4
8	108.7	100.4	79.1	100.6	133.6	100.2	122.1	72.1	143.2
9	113.9	85.0	93.3	102.5	140.7	100.6	123.5	84.0	154.1
10	115.6	90.2	101.9	97.5	141.8	95.4	134.0	83.7	158.2
11	114.4	90.6	96.4	101.6	138.6	94.2	148.9	88.0	148.8
12	114.7	85.2	98.0	101.9	135.5	88.1	144.2	89.2	149.1

注　四半期は期間内３ヶ月の平均値

令和２年＝100

分類 輸送機械工業	窯業・土石製品工業	化学工業	プラスチック製品工業	繊維工業	食料品・たばこ工業	印刷工業	その他工業	区分
577.0	776.7	568.5	385.1	200.7	1613.6	530.6	445.9	ウエイト
164.0	120.9	100.7	106.8	113.7	111.6	106.8	106.4	令和元年平均
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2
99.5	106.6	130.9	105.9	102.9	97.9	99.6	97.1	3
100.8	104.8	134.8	103.7	101.8	98.1	97.3	99.3	4
124.7	120.9	135.0	96.9	98.6	103.2	93.4	93.2	5
102.1	112.9	161.0	109.1	76.8	97.2	90.9	93.1	6
104.9	105.6	122.5	100.2	91.1	80.6	88.0	85.1	5年1月
137.9	121.9	123.5	89.2	100.5	97.9	91.9	90.1	2
152.0	119.3	133.2	89.4	101.2	111.9	111.6	98.6	3
124.6	121.8	142.7	94.4	104.6	104.2	91.8	96.2	4
96.3	105.4	128.8	109.1	98.6	103.3	85.0	90.2	5
112.8	126.8	153.2	107.7	100.6	109.6	96.5	101.2	6
126.0	126.2	143.1	91.5	92.4	109.6	91.9	93.9	7
109.2	97.3	124.2	92.3	90.1	97.1	78.5	87.5	8
141.4	125.3	125.4	86.3	103.6	102.1	95.1	87.7	9
137.5	137.1	144.7	102.8	101.5	107.1	100.4	96.8	10
141.2	143.8	144.9	105.5	101.5	106.4	98.8	95.0	11
112.9	120.4	133.5	94.1	97.5	108.9	91.8	95.7	12
63.3	96.4	122.1	98.5	69.4	71.0	84.1	84.5	6年1月
80.6	104.1	148.4	87.0	71.0	91.3	86.9	92.5	2
85.1	97.1	161.8	81.4	77.2	103.5	89.9	92.5	3
84.0	125.7	162.5	120.2	81.6	109.7	95.7	96.2	4
111.0	112.6	141.7	114.2	76.0	91.2	86.8	94.6	5
116.2	117.2	164.1	110.9	80.5	100.9	89.6	90.9	6
133.7	129.8	179.4	130.9	78.9	108.5	96.6	95.8	7
85.2	88.9	146.6	103.1	70.1	85.1	79.9	84.2	8
126.9	114.6	160.0	103.8	75.9	91.7	91.4	89.3	9
138.8	119.9	192.0	126.8	84.1	102.5	102.9	98.5	10
96.7	126.4	169.5	118.0	79.8	108.2	96.7	100.6	11
104.2	121.7	184.3	114.9	77.6	103.2	90.3	97.4	12

令和２年＝100

分類 輸送機械工業	窯業・土石製品工業	化学工業	プラスチック製品工業	繊維工業	食料品・たばこ工業	印刷工業	その他工業	区分
577.0	776.7	568.5	385.1	200.7	1613.6	530.6	445.9	ウエイト
146.3	107.3	95.7	105.1	111.0	101.8	100.2	105.8	令和２年Ⅰ期
59.6	78.5	96.8	94.7	97.9	101.0	103.0	100.9	Ⅱ
80.0	102.2	91.0	93.3	93.7	100.1	97.7	96.2	Ⅲ
104.6	110.9	117.1	106.3	97.3	95.4	97.9	96.7	Ⅳ
104.2	114.8	130.4	105.6	100.1	99.3	101.5	97.2	3年Ⅰ期
114.3	119.2	132.6	110.3	103.1	96.4	101.2	97.5	Ⅱ
99.8	95.1	138.8	107.1	105.2	96.7	96.6	97.0	Ⅲ
82.1	98.9	122.4	100.8	103.3	98.6	99.5	96.8	Ⅳ
81.9	98.7	126.1	106.7	101.1	94.1	99.1	97.7	4年Ⅰ期
84.3	96.5	131.6	102.0	102.7	96.9	98.7	99.8	Ⅱ
110.2	107.8	145.2	104.5	102.3	100.0	94.8	100.2	Ⅲ
124.0	114.7	136.6	102.2	101.6	101.6	97.6	100.1	Ⅳ
120.5	112.8	130.7	95.1	99.8	103.8	96.3	96.1	5年Ⅰ期
131.9	127.9	138.0	102.0	100.4	106.9	93.2	93.7	Ⅱ
130.1	119.4	130.6	93.4	97.4	104.4	91.6	91.9	Ⅲ
117.7	123.0	139.2	97.3	96.6	99.2	92.9	91.4	Ⅳ
78.8	101.1	146.6	92.2	76.6	94.2	86.9	93.8	6年Ⅰ期
123.6	125.0	152.3	111.1	78.7	100.9	92.7	92.4	Ⅱ
110.9	113.0	163.3	115.3	76.2	95.2	91.6	91.9	Ⅲ
96.9	111.3	178.0	114.2	75.5	95.6	91.1	93.2	Ⅳ
69.1	103.8	127.6	95.3	77.7	88.2	90.3	93.5	6年1月
81.4	101.8	148.9	89.8	74.6	94.4	87.4	96.2	2
85.8	97.6	163.4	91.6	77.4	100.1	83.0	91.8	3
97.2	130.1	156.1	113.6	79.0	107.8	94.2	91.9	4
145.7	128.1	147.7	107.2	77.9	95.4	93.1	95.7	5
127.8	116.7	153.0	112.5	79.3	99.6	90.7	89.7	6
118.4	117.1	163.4	125.0	78.3	99.0	92.5	92.5	7
103.9	110.5	155.5	110.1	75.5	94.4	92.9	91.2	8
110.4	111.5	171.1	110.9	74.9	92.3	89.4	92.1	9
110.1	107.3	182.5	113.7	77.6	95.8	92.5	92.6	10
82.9	112.0	169.2	112.7	73.7	97.4	90.2	93.6	11
97.6	114.6	182.3	116.2	75.2	93.7	90.5	93.4	12

表４　京都府鉱工業出荷指数（季節調整済指数）

区分	製造工業	業種							
		鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	汎用機械工業	生産用機械工業	業務用機械工業	電子部品・デバイス工業	電気機械工業
ウエイト	10000.0	118.8	234.9	524.7	350.0	705.2	633.5	507.2	1058.9
令和元年平均	115.0	129.2	122.1	123.2	114.0	121.8	111.6	113.0	101.4
2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
3	103.0	111.7	107.7	111.9	123.7	96.6	108.2	111.1	114.9
4	110.2	105.8	107.2	109.4	138.4	110.3	114.8	131.1	139.8
5	111.1	103.0	99.7	107.3	138.4	110.4	118.3	86.5	136.9
6	106.5	93.3	94.0	103.6	136.5	103.6	110.0	81.6	140.9
2年Ⅰ期	109.8	120.0	110.2	110.4	102.3	112.9	104.3	106.4	105.0
Ⅱ	92.3	85.6	95.5	87.8	101.8	99.1	90.1	96.3	99.2
Ⅲ	95.2	89.8	92.9	93.1	99.8	89.3	100.4	95.4	94.2
Ⅳ	100.3	100.0	100.2	107.9	96.8	103.3	103.3	101.5	101.4
3年Ⅰ期	101.2	110.4	105.2	111.1	110.2	91.5	107.8	102.7	102.2
Ⅱ	106.6	117.1	109.0	117.3	122.7	107.4	111.7	108.6	113.9
Ⅲ	103.2	112.5	108.7	112.1	129.6	90.5	101.6	117.6	119.3
Ⅳ	101.9	107.6	108.4	108.0	132.7	98.3	112.9	115.3	126.6
4年Ⅰ期	106.3	97.5	108.5	110.0	132.3	108.6	106.1	128.5	134.3
Ⅱ	107.0	107.2	109.3	109.0	138.5	109.1	121.7	131.4	134.3
Ⅲ	113.0	110.3	108.5	109.4	137.7	111.9	110.7	130.6	151.5
Ⅳ	115.4	109.8	103.9	109.8	146.1	111.8	120.5	135.0	141.6
5年Ⅰ期	111.8	102.8	100.1	105.3	142.1	121.1	118.9	114.4	131.6
Ⅱ	111.9	107.8	101.5	107.6	143.4	104.2	126.6	85.6	141.1
Ⅲ	110.1	102.6	99.6	110.1	133.5	99.3	112.7	74.3	134.4
Ⅳ	111.2	99.9	97.9	106.4	134.2	114.2	118.7	72.7	139.5
6年Ⅰ期	96.6	93.3	97.8	103.5	131.5	120.5	110.4	73.2	132.9
Ⅱ	109.0	102.1	94.3	106.2	135.0	103.2	107.4	81.5	143.9
Ⅲ	109.2	90.8	90.0	104.5	139.4	97.9	109.5	80.8	143.6
Ⅳ	108.6	84.6	91.7	99.5	138.4	94.7	111.7	89.8	141.6
6年1月	91.0	98.5	98.8	103.2	128.6	107.4	116.7	68.5	125.7
2	96.7	96.3	103.3	103.2	133.5	136.1	110.1	73.7	136.3
3	102.0	85.0	91.2	104.2	132.5	118.0	104.5	77.5	136.7
4	104.6	94.3	93.0	104.1	136.2	112.1	110.4	80.0	141.8
5	114.0	100.9	97.9	108.3	134.9	104.5	110.4	81.0	146.8
6	108.4	111.0	92.0	106.1	133.8	93.1	101.5	83.6	143.0
7	111.9	96.0	92.1	108.4	137.1	95.6	103.5	81.9	140.7
8	106.7	92.2	86.6	100.9	138.4	95.6	112.6	74.5	141.2
9	109.0	84.3	91.2	104.3	142.7	102.5	112.4	86.0	149.0
10	111.7	90.6	93.6	97.5	140.8	107.0	105.2	88.8	144.5
11	106.9	89.5	91.8	99.8	138.9	91.1	110.9	89.7	137.9
12	107.3	73.7	89.8	101.3	135.6	86.0	118.9	91.0	142.3

注　年平均は原指数、四半期は期間内３ヶ月の平均値

表５　京都府鉱工業在庫指数（季節調整済指数）

区分	製造工業	業種							
		鉄鋼業	非鉄金属工業	金属製品工業	汎用機械工業	生産用機械工業	業務用機械工業	電子部品・デバイス工業	電気機械工業
ウエイト	10000.0	122.5	645.0	818.2	593.5	96.9	−	1210.2	454.3
令和元年末	101.4	62.1	114.6	102.8	x	124.6	−	87.2	x
2	91.8	101.6	95.7	94.1	x	93.3	−	89.8	x
3	107.5	157.9	100.5	90.5	x	120.4	−	109.2	x
4	115.0	154.1	104.0	107.9	x	153.6	−	92.3	x
5	107.1	136.8	105.3	112.9	x	230.5	−	63.8	x
6	104.6	132.7	108.4	104.4	x	86.2	−	76.1	x
2年Ⅰ期	97.9	120.7	95.1	98.2	x	53.7	−	89.1	x
Ⅱ	106.9	96.3	98.4	106.7	x	123.2	−	117.4	x
Ⅲ	97.6	100.8	97.6	98.1	x	75.4	−	100.5	x
Ⅳ	94.7	110.7	94.6	92.4	x	82.8	−	99.4	x
3年Ⅰ期	101.4	99.0	99.3	91.5	x	125.7	−	97.0	x
Ⅱ	98.7	113.2	100.8	87.4	x	40.4	−	101.9	x
Ⅲ	105.1	152.1	99.5	95.0	x	174.6	−	106.2	x
Ⅳ	110.5	167.6	99.7	88.9	x	100.9	−	122.1	x
4年Ⅰ期	110.5	177.7	100.6	92.9	x	45.7	−	131.7	x
Ⅱ	113.1	142.3	101.2	97.5	x	107.8	−	129.0	x
Ⅲ	119.1	147.8	103.2	98.8	x	153.0	−	124.4	x
Ⅳ	117.9	159.5	103.4	105.9	x	124.8	−	103.9	x
5年Ⅰ期	115.8	156.8	106.2	109.9	x	153.0	−	80.5	x
Ⅱ	115.1	157.8	107.5	111.0	x	250.4	−	75.0	x
Ⅲ	106.1	146.2	105.9	111.5	x	102.3	−	75.0	x
Ⅳ	109.5	137.2	105.6	111.4	x	184.0	−	70.4	x
6年Ⅰ期	108.9	134.8	102.7	116.7	x	161.2	−	73.0	x
Ⅱ	105.2	101.3	103.8	106.3	x	122.2	−	69.8	x
Ⅲ	105.3	139.5	102.7	100.8	x	217.1	−	75.7	x
Ⅳ	107.2	131.1	107.9	103.3	x	70.5	−	83.8	x
6年1月	109.0	126.4	103.8	114.4	x	350.2	−	72.5	x
2	111.2	103.1	100.9	116.0	x	146.7	−	76.4	x
3	108.9	134.8	102.7	116.7	x	161.2	−	73.0	x
4	108.7	124.8	103.4	110.8	x	116.0	−	71.1	x
5	105.2	111.9	104.6	108.0	x	57.5	−	74.3	x
6	105.2	101.3	103.8	106.3	x	122.2	−	69.8	x
7	108.3	128.6	104.3	105.9	x	195.6	−	83.0	x
8	108.1	148.1	101.5	102.1	x	186.8	−	79.5	x
9	105.3	139.5	102.7	100.8	x	217.1	−	75.7	x
10	102.0	131.5	105.9	101.6	x	108.3	−	79.7	x
11	103.8	127.3	106.0	102.3	x	79.4	−	79.6	x
12	107.2	131.1	107.9	103.3	x	70.5	−	83.8	x

注　年末値は原指数、四半期は期間内３ヶ月の期末値

令和２年＝100

分類								
輸送機械工業	窯業・土石製品工業	化学工業	プラスチック製品工業	繊維工業	食料品・たばこ工業	印刷工業	その他工業	区分
901.4	467.0	557.7	459.5	139.5	2468.3	418.4	455.0	ウエイト
156.6	119.2	116.2	107.4	115.1	105.5	106.8	104.7	令和元年平均
100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2
98.0	103.1	114.2	106.1	103.1	91.5	99.6	96.2	3
108.7	104.8	118.5	103.2	103.0	94.9	97.3	95.6	4
140.3	114.0	115.2	97.6	99.1	99.2	93.4	93.3	5
110.7	107.9	133.3	110.4	76.0	93.4	90.9	92.2	6
140.0	113.3	106.6	105.3	111.0	105.4	100.5	108.3	2 年Ⅰ期
64.1	77.7	97.2	94.5	95.3	94.7	102.4	99.3	Ⅱ
83.8	103.2	88.1	95.4	94.1	97.1	97.8	94.9	Ⅲ
102.8	106.2	108.5	104.3	99.3	93.7	98.2	98.0	Ⅳ
102.8	107.4	115.1	106.7	101.3	92.0	101.8	92.7	3 年Ⅰ期
111.9	110.1	116.6	110.7	104.1	94.5	100.4	100.2	Ⅱ
98.2	91.9	117.8	106.8	104.6	91.9	96.8	93.0	Ⅲ
81.2	101.7	107.6	101.1	102.8	89.0	99.8	98.5	Ⅳ
82.6	98.0	113.0	106.1	101.6	96.3	99.3	95.0	4 年Ⅰ期
87.7	103.8	114.8	101.3	103.3	92.3	97.9	95.1	Ⅱ
118.1	105.4	125.3	103.8	104.1	94.5	95.0	94.7	Ⅲ
141.3	113.1	121.2	102.6	103.3	97.3	97.9	97.9	Ⅳ
137.5	110.5	110.6	95.3	99.6	97.7	96.5	93.1	5 年Ⅰ期
146.9	113.2	118.3	102.9	100.9	97.4	92.8	93.6	Ⅱ
147.5	115.2	112.4	94.9	98.8	100.3	91.7	94.3	Ⅲ
130.6	115.8	118.9	97.6	96.8	104.6	93.1	91.4	Ⅳ
73.3	105.8	121.3	91.5	74.6	76.4	87.0	94.0	6 年Ⅰ期
132.1	115.5	126.5	111.4	77.4	94.6	91.9	88.9	Ⅱ
130.1	108.1	136.8	116.2	76.1	94.4	92.1	92.2	Ⅲ
110.9	103.3	145.9	118.7	75.6	100.0	91.3	92.7	Ⅳ
55.8	107.7	111.6	94.9	73.5	63.9	90.1	93.8	6 年 1 月
75.9	104.3	123.4	89.2	73.6	72.3	87.3	96.4	2
88.2	105.4	128.9	90.3	76.8	93.1	83.5	91.7	3
91.5	111.4	124.6	114.8	77.8	90.7	91.9	90.4	4
162.7	122.2	124.8	108.1	76.8	99.1	93.4	92.7	5
142.2	113.0	130.1	111.3	77.5	94.1	90.5	83.6	6
138.3	110.8	137.8	125.3	78.3	101.2	92.8	93.0	7
121.5	106.7	131.6	111.8	75.9	96.1	93.5	90.3	8
130.4	106.9	141.1	111.4	74.0	85.9	89.9	93.3	9
131.6	111.5	152.1	116.5	78.6	101.9	93.1	89.7	10
88.6	98.8	138.2	116.5	73.2	104.4	90.6	92.8	11
112.4	99.6	147.3	123.1	75.1	93.6	90.2	95.5	12

令和２年＝100

分類								
輸送機械工業	窯業・土石製品工業	化学工業	プラスチック製品工業	繊維工業	食料品・たばこ工業	印刷工業	その他工業	区分
89.0	2104.1	1169.9	260.6	774.4	874.3	－	787.1	ウエイト
x	108.2	104.9	87.3	95.9	99.1	－	94.1	令和元年末
x	92.7	90.1	110.0	96.2	78.2	－	86.7	2
x	107.2	105.7	103.9	84.9	116.9	－	71.2	3
x	105.4	96.7	115.7	87.9	125.8	－	96.4	4
x	112.7	89.8	110.6	93.6	105.0	－	83.1	5
x	110.1	95.6	85.7	85.6	128.9	－	80.3	6
x	104.9	102.8	99.6	98.4	88.0	－	100.7	2 年Ⅰ期
x	104.3	105.2	106.7	101.1	112.1	－	100.5	Ⅱ
x	95.5	98.4	88.8	102.6	103.5	－	96.6	Ⅲ
x	92.6	89.9	105.6	97.2	97.9	－	91.8	Ⅳ
x	98.0	88.7	104.0	96.9	144.7	－	94.5	3 年Ⅰ期
x	101.7	88.3	99.0	91.4	97.4	－	78.7	Ⅱ
x	108.9	94.8	114.2	88.3	106.3	－	79.2	Ⅲ
x	107.2	104.8	99.9	85.7	141.7	－	75.2	Ⅳ
x	113.3	102.5	98.3	84.7	106.0	－	77.2	4 年Ⅰ期
x	96.7	99.7	105.6	83.3	120.3	－	83.0	Ⅱ
x	104.9	98.6	106.3	85.8	135.4	－	94.0	Ⅲ
x	105.4	95.3	111.8	88.6	149.4	－	101.8	Ⅳ
x	106.8	95.3	125.6	92.2	142.2	－	112.2	5 年Ⅰ期
x	111.5	95.3	116.7	94.6	130.9	－	100.5	Ⅱ
x	105.4	88.7	107.5	94.0	110.0	－	91.4	Ⅲ
x	112.8	88.8	110.0	94.9	118.8	－	88.9	Ⅳ
x	106.3	89.8	118.9	91.9	137.6	－	93.2	6 年Ⅰ期
x	105.3	91.0	112.9	89.3	103.4	－	92.1	Ⅱ
x	106.0	89.5	120.9	88.3	138.8	－	83.5	Ⅲ
x	110.4	95.0	86.7	86.7	146.4	－	86.1	Ⅳ
x	106.4	91.0	116.8	95.6	111.3	－	90.7	6 年 1 月
x	106.6	89.3	116.0	94.3	147.6	－	90.1	2
x	106.3	89.8	118.9	91.9	137.6	－	93.2	3
x	108.6	93.2	117.9	91.7	132.5	－	89.3	4
x	108.1	91.4	115.2	89.8	117.2	－	89.9	5
x	105.3	91.0	112.9	89.3	103.4	－	92.1	6
x	106.7	91.5	115.3	88.1	118.5	－	87.5	7
x	106.9	90.9	113.6	87.6	125.9	－	87.0	8
x	106.0	89.5	120.9	88.3	138.8	－	83.5	9
x	103.2	88.3	116.8	88.1	103.1	－	88.7	10
x	106.7	92.3	107.7	87.5	117.7	－	90.2	11
x	110.4	95.0	86.7	86.7	146.4	－	86.1	12

（3）繊維工業

繊維工業は76.8で、前年比22.1％低下となりました。合成繊維織物染色整理等が低下に寄与しました。（図6、表2）

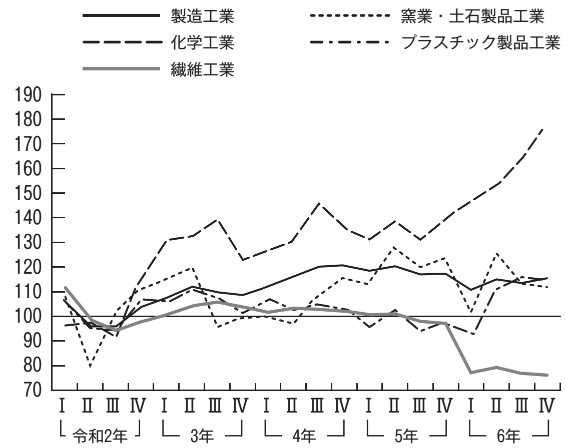
（4）その他の業種

窯業・土石製品工業は112.9で前年比6.6％低下となりました。合わせガラスや強化ガラス等が低下に寄与しました。

化学工業は161.0で同19.3％上昇となりました。医薬品等が上昇に寄与しました。

プラスチック製品工業は109.1で同12.6％上昇となりました。プラスチック製機械器具部品等が上昇に寄与しました。（図6、表2）

図6　京都府鉱工業生産指数　業種別の推移（R2＝100 季節調整済）



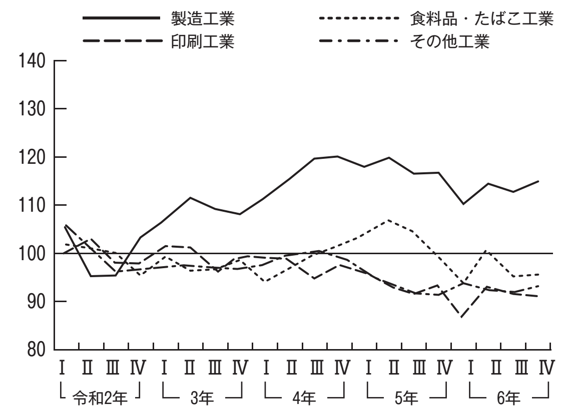
食料品・たばこ工業は97.2で前年比5.8％低下となりました。たばこ等が低下に寄与しました。

印刷工業は90.9で同2.7％低下となりました。

その他工業は93.1で同0.1％低下となりました。金属製棚や衛生用紙等が低下に寄与しました。

（図7、表2）

図7　京都府鉱工業生産指数　業種別の推移（R2＝100 季節調整済）



○寄与率と寄与度について

総合指数の上昇（低下）に対して、その内訳である業種別の影響の度合いがどれだけであったかについて、その構成比を計算したものを寄与率といい、さらに、総合指数の上昇（低下）率を寄与率により配分したものを寄与度といいます。寄与度、寄与率は次のように定義されます。

寄与率

$$=\frac{\text{各業種指数のポイント差}\times\text{各業種のウェイト}}{\text{総合指数のポイント差}\times\text{総合のウェイト}}\times 100$$

寄与度

＝総合指数の対前年上昇（低下）率×各業種の寄与率÷100

○季節調整法について

鉱工業指数の季節調整法には米国センサス局のX-12-ARIMAを用いています。具体的な季節調整済指数の算出方法は次のとおりです。

季節調整済指数＝原指数÷（季節・曜日・祝祭日・うるう年指数）

季節調整法スペックファイル（Spec File）

```
series{ start = 2013.1
        span = (2013.1, 2024.12)
        decimals=1 }
  transform{ function = log }
  arima{ model = (010)(011) }
  regression{ variables = (td1 nolpyear lpyear)
              save = (td hol)
              user = (jap-hol)
              usertype = holiday
              start = 2013.1
              file = "xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx" }
  forecast{ maxlead = 12 }
  estimate{ save = (mdl)
            maxiter = 500 }
  X11{ print = (none + d10 +d11 +d16)
       save = (d10 d11 d16 )
       seasonalma=x11default }
```

（注 在庫の場合はregressionの{ }内を削除）

令和6年年間補正において、異常値処理を行った種別、年月は以下のとおり。

鉱工業指数系列	異常値種別	処理年月
生　　産	AO（additive outlier）	2022. 4
出　　荷	TC（temporary change）	2024. 1
在　　庫	TC（temporary change）	2013. 4
	AO（additive outlier）	2013.12
	AO（additive outlier）	2014. 9

○基準改定について

鉱工業指数は、採用品目やウエイト構成を基準時で固定しているため、基準時から遠ざかるにつれて、産業構造の変化や生産品目の種類及び価格の変動等により、実態を反映しにくくなる傾向があります。このため従来から5年ごとに基準時を更新しています。現行は令和2年基準で、令和6年1月分（速報）（令和6年3月公表分）から更新しています。